村勢功労者に太田文吾さん

納税、税の作文入賞者を表彰

平成20年度の村勢功労者表彰式が11月1日、役場大会議室で行われ、村の漁業振興に貢献された太田文吾さん（74＝太田名部）が表彰されました。

深渡宏村長は「長きにわたり積み上げた努力とご苦労に対し、深く感謝します」とあいさつ。太田さんに表彰状と記念品を手渡しました。

続いて、同会場で平成20年度の村納税功労者表彰式が行われ、納税業務の推進に功績のあった9人と中学生の「税についての作文」入賞者11人を表彰しました。

納税功労表彰者と税についての作文で表彰された方々は、次の通りです。

◆納税貯蓄組合連合会長▽表彰状　澤口徳明（旭日区納税貯蓄組合理事）　下上祐二（三和納税貯蓄組合副組合長）　中花幸雄（白井納税貯蓄組合副組合長）　道下昭光（同理事）　赤坂勝郎（同理事）▽**感謝状**　金子泰男（黒崎納税貯蓄組合長）　嘉藤明男（三和納税貯蓄組合監事）　前川美代志（白井納税貯蓄組合理事）　坂上賢治（堀内納税貯蓄組合理事）　**◆税の作文▽最優秀賞**　澤田奈津季（普中2年）▽**優秀賞**　中山翔太（同1年）　松家菜（同3年）▽**特別賞**　道下明賢（同1年）▽**入選**　正路裕也（同）　立臼翔大（同）　中上圭秀（同2年）　松葉直己（同）　深渡美穂（同）　中村駿人（同3年）　内野沢美里（同）　**（敬称略）**

村勢功労者で表彰された太田文吾さん（前列中央）

納税功労者で表彰された皆さん

「税の作文コンクール」で表彰された普代中の皆さん

読書意欲　盛んです

コンクール入賞者23人を表彰

読書意欲を高めようと毎年行われている読書感想文等コンクールの表彰式が11月1日、役場大会議室で行われました。

表彰式には入賞した児童生徒や保護者ら約60人が参加。入賞者23人が紹介され、熊坂伸子教育長が表彰しました。

同コンクールは今年で28回目。小中学生合わせて35点の応募がありました。各部門の入賞者は次の通りです。

入賞した児童生徒の皆さん

◆小学校低学年の部▽優秀賞　村尾恭吾（堀小1年）　道下瑞葵（普小2年）▽**入選**　熊谷鈴茄（黒小1年）　柾谷美麗（普小1年）　大村純玲（同2年）　金子美紀（黒小2年）　**◆同中学年の部▽優秀賞**　赤坂日菜子（堀小3年）　柾谷美沙子（普小4年）▽**入選**　太田寛章（普小3年）　前川雅斗（同）　深渡瑞稀（同4年）　中山弘喜（同）　**◆同高学年の部▽優秀賞**　柾谷美祈（普小5年）　嘉村佳那恵（黒小6年）▽**入選**　赤坂小春（堀小5年）　深渡柊（普小5年）　澤口未来（同6年）　森子椋太（黒小6年）　**◆中学校の部▽優秀賞**　太田綾華（普中3年）▽**入選**　砂合翔（同1年）　横田裕紀（同2年）　越戸菜摘（同3年）　畑俊輔（同）　**（敬称略）**

飲酒運転の撲滅　全村民で

交通安全村民大会で決意新た

「飲酒運転は犯罪。ドライバーは自覚を持ってハンドルを握ってほしい」と訴える久慈警察署の新沼交通課長

第27回村交通安全村民大会が11月1日、役場大会議室で開かれました。交通安全協会やシルバー部会、母の会ら関係者約100人が参加し、飲酒運転の撲滅やシートベルト、チャイルドシートの着用の徹底などを誓い、決意を新たにしました。

大会では交通犠牲者に対する黙とうをし、普代中2年の深渡美穂さんが県交通安全憲章を朗読、参加者全員で読み上げました。

続いて、第25回村交通安全ポスターコンクールの入賞者15人を表彰しました。

講演では、久慈警察署の新沼久治交通課長が「久慈管内では今年の8月に4日間で、3人の死亡事故が発生しています。普代村は飲酒運転の検挙率も県内でワースト1位の現状です。『飲酒運転は犯罪』という自覚を持って運転してほしい」と訴えました。

引き続き、交通安全母の会の太田加奈子さんが力強く決意表明しました。最優秀賞を除く村交通安全ポスターコンクールの入賞者は次の通りです。

ポスターコンクール入賞者一人ひとりを表彰しました

◆小学校低学年の部▽優秀賞　太田麗菜（普小3年）　金子美紀（黒小2年）▽**佳作**　畠山楓（同）　畠山祐成（同）　**◆小学校高学年の部▽優秀賞**　金子美希（黒小5年）　佐々木勇人（普小5年）▽**佳作**　駒木李音（黒小6年）　嘉村佳那恵（同）　**◆中学校の部▽優秀賞**　三船祥生（普中2年）　日野澤朱莉（同）▽**佳作**　横田裕紀（同）　日向脩人（同）　**（敬称略）**

ポスターコンクール入賞者の皆さん

ポスターコンクール最優秀賞作品

小学校低学年の部
及川愛さん(普代小3年)

小学校高学年の部
茂石祐香さん(普代小6年)

中学校の部
深渡美穂さん(普代中2年)

決意表明

交通安全母の会
副会長　太田加奈子さん

私たちは、交通事故から尊い命を守るため、県が提唱する「正しい交通ルールを守る運動」に積極的に参加してまいりました。

しかし、依然として交通事故が数多く発生し、私たちの生活をおびやかしています。特に、大きな社会問題となっている飲酒運転による交通事故や検挙者が後をたたないことは、誠に残念でなりません。また、シートベルトやチャイルドシートの着用率も依然として低い状況にあります。

このような状況を踏まえ、私たちは、この大会を契機に決意を新たにして、交通事故防止、飲酒運転撲滅を目指し、「岩手県交通安全憲章」の定めを正しく実践して、交通事故のない明るく住みよい郷土を築くため、全村民力を合わせて一層努力することを誓います。